



東京 2020 パラリンピック聖火リレー事業
聖火フェスティバル種火起こしイベント
を開催します。



ターゲット 3.4

令和3年8月6日
郡山市文化スポーツ部
スポーツ振興課
担当：辻 結花
TEL：924-3441

SDGs ターゲット 3.4 「精神保健及び福祉を促進する」

郡山市では「SDGs 未来都市こおりやまからパラリンピックの聖火を灯そう！」をスローガンに、伝統的な火おこし方法（舞切り式火おこし）を用いて採火を行い、郡山市のシンボルカラー赤・青・緑の火に色を染め、その火を1つにまとめて大きな火とします。参加者全員が願いの木にパラリンピックへの思いを書きこみ大型焚火台にくべていき、その火を郡山市の火としてランタンに納火します。

- 1 日時 8月11日(水) 午前9時15分開始
- 2 場所 大安場史跡公園（ガイダンス施設、古代ステージ）
- 3 参加者 福島県聴覚支援学校生徒8名
宮城小学校児童5名
障がい者総合体育大会出場者3名

<下記の日程で各イベントを開催します。>

- 8月11日（水）種火起こし（郡山市大安場史跡公園）
（主催：郡山市）
- 8月13日（金）東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式
各市町村で起こした種火を浜通り、中通り、会津の3地方に集め、各地方の聖火を作る（中通り：四季の里（福島市））
（主催：福島県）
- 8月15日（日）東京2020パラリンピック聖火フェスティバル
県内集火・出立式（郡山ヒロセ開成山陸上競技場）
浜通り、中通り、会津の3地方で集めた聖火を1つに集火して「福島県の火」を作り、東京へ送り出す。（主催：福島県）